

書写 年間指導計画 5年（光村図書）

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準	
4月	学習の進め方 [教科書 巻頭] ◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1 表2-P1上段を見て、学習の進め方を理解する。 2 下段を見て、1年間の学習内容を知る。 3 「五年生のめあて」を確かめる。	【態】積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)書写学習に取り組もうとしている(④)。	
	いつも気をつけよう				
	用具の準備／用具のかたづけ [教科書P2] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(イ)]	適宜	1 P2を見て、用具の準備のしかたと片づけ方を確かめる。 2 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 【思】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。 【態】積極的に(①)毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)適切に扱おうとしている(④)。	
	書くときのしせい [教科書P3] ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(イ)]		1 P3の写真や唱え歌「足はぺったん…」を見て、毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】書くときの姿勢を正しくしている。 【思】書くときの正しい姿勢を確かめている。 【態】進んで(①)書くときの姿勢を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。	
	筆の持ち方／タブレットを活用しよう [教科書P4-5] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(イ)]		1 P4の写真と解説を見て、筆の持ち方を確かめる。 2 P5を見て、タブレット端末の活用のしかたや、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】進んで(①)筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)筆の持ち方を正しくしようしたり、タブレット端末を活用しようとしていたりしている(④)。	
漢字の組み立て					
5月	部分の組み立て方①（によう） [教科書P6-7] ◎「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	毛筆 4	1 二つの「道」を比べて、どちらの字形が整って見えるか考え、その理由を友達どうしやグループで話し合う。 2 P6下段の「たいせつ」を見て、「によう」をもつ漢字の組み立て方のポイントを理解する。 3 「道」の部分（「しんによう」と首）の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4 「しんによう」の形や部分の組み立て方に気をつけて、毛筆で「道」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「道・速・友達」を鉛筆でなぞる。	【知】「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】毛筆で「道」を書きながら、「によう」をもつ漢字の組み立て方を確かめている。 【態】進んで(①)「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「によう」をもつ漢字を書こうとしている(④)。	
	部分の組み立て方② [教科書P8] ◎漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	硬筆 1	1 これまでに学習した漢字の部分の組み立て方につけて、鉛筆で漢字を書く。 2 P40-41「四年生で学習した漢字」から、部分の組み立て方が同じ漢字を選び、部分どうしの位置や大きさの関係を意識して鉛筆で書く。	【知】漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。 【思】硬筆で漢字を書きながら、漢字の部分の組み立て方を確かめている。 【態】積極的に(①)漢字の部分の組み立て方に注意して(③)、今までの学習を生かしながら(②)漢字を書こうとしている(④)。	

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	<p>【もっと知りたい】漢字のいろいろな書き方 [教科書P9]</p> <p>◎速く書く場面で使ってもよい書き方を理解することができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)]</p>	適宜	<p>1 速く書く必要がある場面では、点画の形や方向、接し方などを変えて書いてもよいことを理解し、その書き方を知る。</p> <p>2 P9に例示されている漢字を書く。</p> <p>3 P10-11の学習活動に合わせて適宜確認する。</p>	<p>【知】速く書く場面で使ってもよい書き方を理解している。</p> <p>【思】例示された文字を書くなかで、速く書く場面で使ってもよい書き方を確かめている。</p> <p>【態】進んで(①)速く書く場面で使ってもよい書き方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速く書く場合の書き方で書こうとしている(④)。</p>
6月	書くときの速さ			
	<p>書くときの速さ [教科書P10]</p> <p>◎場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]</p>	硬筆 1	<p>1 P10の4つの場面では、それぞれどのような速さで書くとよいかを考え、理由も合わせて友達どうしやグループで話し合う。</p> <p>2 P10下段の「たいせつ」を見て、文字を書く速さは場面によって変わることを理解する。</p> <p>3 学校生活のどの場面で、どのような速さで書くのがよいかを考え、友達どうしやグループで話し合うとともに、実際に速さを意識して書いてみる。</p>	<p>【知】場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書いている。</p> <p>【思】文字を書くときには、場面にふさわしい速さがあることを確かめている。</p> <p>【態】積極的に(①)場面と書く速さの関係を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識して書こうとしている(④)。</p>
	<p>書写広げたい①〈国語〉 [教科書P11]</p> <p>◎速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。[A(1)ア、(2)イ]</p>	硬筆 1	<p>1 インタビューメモを書くときは、どのような速さで書くのがよいかを考え、話し合う。</p> <p>2 速く正確に書き留めるための方法を確認する。必要に応じてP9を参照する。</p> <p>3 実際にインタビューをして、相手の話の要点を書き留める。(または、P11のインタビュー例を用いて、要点を書き留めてみる。)</p> <p>4 速さを意識して、話の要点を書き留めることができたかを話し合う。</p>	<p>【知】速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書いている。</p> <p>【思】インタビューメモを書く活動のなかで、すばやく書き留めるための方法を確かめている。</p> <p>【態】積極的に(①)速く正確に書き留めるための方法を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識してインタビューメモを書こうとしている(④)。</p>
	<p>手書きの力 [教科書P12]</p> <p>◎手書き文字のもつ力やよさについて理解することができる。[知技(1)エ、(3)エ(ウ)]</p>	硬筆 1	<p>1 P12の手書きの壁新聞を見て、受けた印象や手書き文字のもつ力・よさについて話し合う。</p> <p>【学習活動の応用例】</p> <p>○手書きで書かれたプリントやチラシを集め、活字のものとの違いやそのよさについて話し合う。</p>	<p>【知】手書き文字のもつ力やよさについて理解している。</p> <p>【思】手書き文字のもつ力やよさについて考えている。</p> <p>【態】進んで(①)手書き文字に興味をもち(③)、学習課題に沿って(②)壁新聞から受けた印象について話し合おうとしている(④)。</p>
	<p>【もっと知りたい】手書き文字と活字 [教科書P13]</p> <p>◎手書き文字と活字の違いを理解することができる。[知技(1)エ、(3)エ(ウ)]</p>		<p>1 3種類の「令」の違いについて、字形や読みやすさ、受ける印象などの観点から、友達どうしやグループで話し合う。</p> <p>2 手書き文字と活字の違いを理解する。</p> <p>3 P13の「地いきゆかりの活字」を見て、それぞれの活字の由来やデザインの特徴を知り、活字への興味を高める。</p>	<p>【知】手書き文字と活字の違いを理解している。</p> <p>【思】手書き文字と活字の違いを確かめている。</p> <p>【態】積極的に(①)手書き文字と活字の違いを考え(③)、学習課題に沿って(②)手書き文字と活字の違いや、地域ゆかりの活字について話し合おうとしている(④)。</p>

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
7月	字の形 点画のつながりと字形 [教科書P14-15] ◎点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。[知技(3)エ(イ)]	毛筆 3～4	1 P14上段の「こい」を指でなぞり、点画のつながりと字形の関係について考え、友達どうしやグループで話し合う。 2 P14下段の「たいせつ」を見て、穂先を次の画の始筆につなぐ気持ちで書くと、字形が整うことを理解する。 3 墨の付いていない筆で穂先の動きをなぞり、「ふるさと」を書くときの点画のつながりを確かめる。 4 穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「ふるさと」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「ふるさと・うぐいす」を鉛筆でなぞる。	【知】 点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。 【思】 穂先の動きと点画のつながりを意識して「ふるさと」を毛筆で書写するなかで、点画のつながりと字形の関係を確かめている。 【態】 積極的に(①)穂先の動きと点画のつながりを意識し(③)、学習課題に沿って(②)平仮名の言葉を書こうとしている(④)。
9月	筆順と字形 [教科書P16-17] ◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	毛筆 3～4	1 P16上段の「原」と「皮」を見て、筆順と画の始筆の付き方との関係について考え、友達どうしやグループで話し合う。 2 P16下段の「たいせつ」を見て、画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを理解する。 3 「成長」の筆順と画の始筆の付き方との関係を確かめる。 4 筆順と画の付き方との関係に気をつけて、毛筆で「成長」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「成長・野原」を鉛筆でなぞる。	【知】 筆順と字形の関係を理解して書いている。 【思】 毛筆で「成長」を書写するなかで、画の始筆の付き方を確かめている。 【態】 進んで(①)筆順と字形の関係を考え(③)、学習課題に沿って(②)画の始筆どうしが付く漢字を書こうとしている(④)。
10月	ことば [教科書P18-19] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]	硬筆 1	1 言葉の響きやリズムを楽しみながら、「竹取物語」を声に出して読む。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「竹取物語」を鉛筆でなぞる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 「竹取物語」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)、「竹取物語」をなぞろうとしている(④)。
文字の配列				
	文字の大きさ(漢字と仮名) [教科書P20-21] ◎漢字と仮名の大きさに注意して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)]	毛筆 3	1 P20の△と○の例を見て、文字(漢字と仮名)の大きさと読みやすさの関係について、友達どうしやグループで話し合う。 2 P20下段の「たいせつ」を見て、漢字を大きめに、平仮名は小さめに書くと、読みやすくなることを理解する。 3 「読む」の外形をなぞり、漢字と仮名の大きさのバランスを確かめる。 4 漢字と仮名の大きさに気をつけて、毛筆で「読む」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「読む・聞く」を鉛筆でなぞる。	【知】 漢字や仮名の大きさに注意して書いている。 【思】 毛筆で「読む」を書写するなかで、漢字や仮名の大きさを確かめている。 【態】 進んで(①)漢字や仮名の大きさに注意し(③)、学習課題に沿って(②)毛筆と硬筆で「読む」を書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
11月	用紙に合った文字の大きさ [教科書P22-23] ◎用紙全体の大きさと文字数を考え、文字の大きさと配列を決めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)]	毛筆 4	1 P22の㉗～㉙のうち、バランスよく見えるものを選び、選んだ理由を友だちどうしやグループで話し合う。 2 P22下段の「たいせつ」を見て、用紙全体の大きさと文字数を考えて、書く前に文字の大きさと配置を決めると読みやすく書けることを理解する。 3 用紙(半紙)に合った文字の大きさや配置を考えて、毛筆で「飛行」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「飛行・白雲」を鉛筆でなぞる。 5 「飛行」や「白雲」を、いろいろな大きさの紙にバランスよく見えるように書く。	【知】 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 【思】 毛筆で半紙に「飛行」を書写するなかで、半紙に対する文字の大きさや配置を工夫している。 【態】 進んで(①)文字の大きさや配置について考え(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな大きさの用紙にバランスよく書こうとしている(④)。
12月	めざせ！ 新聞記者 [教科書P24-25] ◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(2)イ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。[B(1)ウ・オ、(2)ア・ウ]	硬筆 2 / 毛筆 0～1	1 P24の新聞の例を見て、読みやすくするためにどのような工夫をしているか、友達どうしやグループで話し合う。 2 P25のポイント①②を見て、新聞などを読みやすく書くための配列のポイントを理解する。 3 P24の新聞の例ではどのような筆記具が使われているか、P25の「筆記具の選たく」を参考に考える。 4 P25下段の「たいせつ」を見て、新聞などを読みやすく書くための文字の配列や筆記具の使い分けのポイントを確かめる。 5 学習したことを生かして、新聞などを制作する。	【知】 漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。 【思】 新聞などを制作する活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなど、学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなどを工夫して(③)、学習課題に沿って(②)新聞などを読みやすく書こうとしている(④)。
1月	まとめ			
2月	書きぞめ	硬筆	1 書き初めとは何かについて、確かめる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。
3月	[教科書P26-29・P45-48] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	0～1 / 毛筆 5～6	2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、毛筆で「希望」や「新しい風」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、硬筆で文章を書く。	【思】 書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
	五年生のまとめ①② [教科書P30-33] ◎第5学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 3	1 P30-31の『「たいせつ」のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「近づく春」を書くときに生かせることを考え、P32下段の「書写の言葉」を使って自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「近づく春」を書く。 3 P42-44「五年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、硬筆で書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 毛筆で「近づく春」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
	六年生を送る会に向けて [教科書P34] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)オ、(2)ウ]	硬筆 1～2 / 毛筆 0～1	1 これまでにお世話になった六年生に感謝の気持ちを伝えるという目的を確認し、送る会に用意するものを考え、話し合う。 2 筆記具や用紙を決める。 3 文字の大きさや配列など、今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、プログラムや寄せ書き、メッセージカードなどを書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 プログラムや寄せ書きなどを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)プログラムや寄せ書きなどを書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	書写広げたい②〈英語〉 [教科書P35] ◎アルファベットの大きさや配列に注意して書くことができる。[知技(3)エ(ア)・(ウ)]	適宜	1 P35の例を参考に、「My Hero カード」の書き方を理解し、内容を考える。 2 アルファベット(大文字・小文字)の大きさ・高さと位置などを確かめる。 3 配列に気をつけて、英語で「My Hero カード」を書く。	【知】 アルファベットの大きさや配列に注意して書いている。 【思】 「My Hero カード」を作る活動のなかで、今までに学習したことへの生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)アルファベットの大きさや配列に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「My Hero カード」を書こうとしている(④)。
適宜	資料			
	手紙の書き方／都道府県漢字 [教科書P36-37] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)ウ・オ]	適宜	1 P36を見て、便箋、封筒の書式を確認し、文字の大きさや配列など、今までに学習した知識・技能を振り返る。 2 P37を見て、都道府県名に用いられる漢字の書き方を確かめる。 3 1、2で確認したことへの生かし方を考えて手紙を書く。(または、P36の例を視写する。)	【知】 今までに学習した知識を生かして書いている。 【思】 便箋、封筒、都道府県漢字などを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、これまでの学習を生かして(②)便箋、封筒、都道府県漢字などを書こうとしている(④)。
	こんなことはないかな [教科書P38] ◎平仮名の筆使いと文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(3)ウ、(3)エ(ア)・(イ)]		1 平仮名には、元になった漢字があることを知る。 2 P38の「わ・ち・ゆ・れ」について、それぞれの字源を意識して平仮名を書く。 3 1、2で学習したことへの生かし方を考えて、自分の名前を平仮名で書く。(それぞれの平仮名の字源については、適宜、P38の二次元コードを読み取って資料を確認する。)	【知】 平仮名の筆使いと文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 自分の名前を平仮名で書く活動のなかで、筆使い、文字の形、筆順などを確かめている。 【態】 進んで(①)筆使い、文字の形、筆順などに気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)自分の名前を平仮名で書こうとしている(④)。
	平仮名／片仮名／ローマ字 [教科書P39] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)エ(ア)]		1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】 進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、これまでの学習を生かしながら(②)書こうとしている(④)。
	四年生で学習した漢字 [教科書P40-41] ◎点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)]		1 第4学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、漢字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や漢字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、これまでの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
	五年生で学習する漢字 [教科書P42-44] ◎点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)]		1 第5学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の形、漢字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や漢字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、これまでの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
	身近な文字をさがそう [教科書P49] ◎町にある身近な文字への関心を高めることができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)]		1 P49の写真を参考に、自分の町でどのような文字を見たことがあるか、友達どうしやグループで話し合う。 2 実際に町で文字を探す活動を行い、特徴や印象に残っていること、日本語以外の文字についてなど、気づいたことを発表し合う。	【態】 積極的に(①)身近な文字を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字や気づいたことについて発表しようとしている(④)。